

神の国の奥義(8)

=神の国での私たち⑥=

1. 聖なる者

- ①教会とは召され聖とされた人々(1コリント1:2)
- ②聖の意味:客観的には神へと分離されること;主観的には健全性(wholeness)
- ③聖とされる根拠:ヘブル10:10—この御心に基づいて、ただ一度イエス・キリストの体が献げられたことにより、わたしたちは聖なる者とされたのです。→hagiozoの直接完了受動態
- ④良心は主の血によって清められる(ヘブル9:14)→katharizo=解放する(カタルシス):主観的聖の実現(精神身体医学)→ひとつに統合される(3ヨハネ1:2)
- ⑤血のみが至聖所に持ち込まれた;他の部分は営所の外で焼かれる;祭司の分はない;営所からイエスの辱めを追って出る(ヘブル13:9-13;贖罪の捧げ物レビ4章;5:1-13;6:24-30;8:14-17;16:3-22)
- ⑥私たちの問題:古い肉体(大脳辺縁系)と新しい霊→魂の葛藤

【暗証聖句】

1:2 コリントにある神の教会へ、すなわち、至るところでわたしたちの主イエス・キリストの名を呼び求めているすべての人と共に、キリスト・イエスによって聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。

10:10 この御心に基づいて、ただ一度イエス・キリストの体が献げられたことにより、わたしたちは聖なる者とされたのです。

9:14 まして、永遠の“霊”によって、御自身をきずのないものとして神に献げられたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神を礼拝するようにさせないでしょうか。

13:8 イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。

13:9 いろいろ異なった教えに迷わされてはなりません。食べ物ではなく、恵みによって心が強められるのはよいことです。食物の規定に従って生活した者は、益を受けませんでした。

13:11 なぜなら、罪を贖うための動物の血は、大祭司によって聖所に運び入れられますが、その体は宿営の外で焼かれるからです。

13:12 それで、イエスもまた、御自分の血で民を聖なる者とするために、門の外で苦難に遭われたのです。

13:13 だから、わたしたちは、イエスが受けられた辱めを担い、宿営の外に出て、そのみもとに赴こうではありませんか。